



世界の問題と 私の個人生活

今年もビッグニュースをお届けする時がやってきました。毎年同じような行事やイベントをお知らせし、同じことを繰り返しているような思いになっていきましたが、現実には、突然予期せぬことが起き、想定外のことの次々に起こりうることを学ばされています。

例えば、新型コロナウイルスの登場と感染拡大。そして、本年二月に起きたロシアによるウクライナへの侵攻がそれで、かつての平穏無事な日々が、今では非常に貴重なものに思えるほどです。

それにしても、平和に暮らしていた人々が突然、街を破壊され、住まいを焼かれ、略奪やレイプ、

発行
社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園
〒421-0412 静岡県 牧之原市
坂部 2151 番地 2
TEL:0548-29-0221 FAX:0548-29-0157
E-mail:honbu@yamabatogakuen.jp/
http://www.yamabatogakuen.jp/
郵便振替 00800 - 6 - 14641
頒価年額 600 円(千共) 1部 100 円(千共)
(送料・消費税込み)
寄付金の一部に購読料を含む場合があります。



爆発や銃殺といった悲惨な日々へと追いやられたことを思うと、この理不尽な行為を裁く国際的な権威が、いつの日か必ず確立されるよう願わずにはいられませんし、

力によつて他国や他者を支配しようとする勢力は退散し、法の秩序に従う平和な世界が一日も早く来ますよう祈らずにはいられません。

ところで、戦争が長引けば長引くだけ、ロシアに課した経済制裁はロシアを苦しめるばかりでなく、戦争とは無縁の他の国々の人々の暮らしをも、不便なものにしたり、物価高騰の状況に追いやるだろうと言われています。

先日のフランス大統領選挙では、ウクライナ情勢の影響で、燃料価格などの物価が高騰するなか、生活向上などの対策を訴えたルペン氏が低所得者層の不満の受け皿となつて急速に支持を伸ばしたということがあります。個人の「生活の安定」を優先させるのか、それとも、普遍的な価値(自由や平等、人権尊重)を守るため闘っている人々と歩みを共にし、個人生活を多少犠牲にしても支援し続

けるのか、このような類の選択肢の問題を、今後私たちはいろいろな局面で問われることでしょう。どの人の生活も守られなければならぬのは当然ですが、世界がこれだけ狭くなり、各国間の輸入や輸出等によつてお互いに依存しあうようになっていいる現在、普遍的な価値に基づいた平和が確立されることこそ、最終的には、ひとりひとりの生活をも幸せなものにするとは私は思っています。現実の利害関係は複雑で簡単にはいかないでしょうが、その目標を忘れないで、一人一人が、自分にできる努力をすべきとも考えます。

やや難しい話題になってしまいましたが、最後に、「分かち合いは、悲しみを半分にし、喜びを倍にする」という格言を引用し、牧ノ原やまばと学園では、当年度も、助け合いや、励まし合いを大事にしながら、ともに歩んでいきたいと願っていることをお伝え致します。

〈理事長〉長沢道子

法人全体

★6月、理事、監事、評議員が任期を終え、新たに選ばれる

理事・監事の任期は2年、評議員の任期は4年で、今回は、全てが改選の年。

大半の方が再選されましたが、交代したのは、理事:伊藤巧氏→松田正幸(当法人施設長)／評議員:大石節夫様→田島逸雄様(吉田町社協会長)、小澤巖様→山城厚生様(島田市社協会長)。退任された皆様の、これまでのご尽力に対し心から感謝します。

★初めてのEPA生(経済連携協定による研修生)、6月17日から仕事開始

コロナ禍により、来日予定日などが大幅に遅れましたが、6月14日、インドネシア人のEPA生、セプティアニンティアスさんが当地へ無事到着。実は、感染対策のため、本部関係者が大阪まで車で迎えに行き、到着後も数日間はホテルから出勤という対応になりましたが、今では元気に自転車通勤し、自由に市内へ出かけています。



★「デイサービスセンター真菜」と「ケアセンターさざんか」の建設工事了

さざんかに対し、2021年度社会福祉施設等施設整備費補助金交付の認可が下り、9月10日

着工、2022年3月15日に工事が完了しました。聖ルカホームの前に、新しい建物二つが立ち、次年度からは人の往来も多くなり、にぎやかになりそうです。

★資格重視の流れの中で、スタッフの中から受験者増加、合格者も増加

近年は、処遇改善加算等を通して、現場で働く有資格者は優遇されることが認識されたためか、資格取得の受験希望者が増加。結局、合格者は計25名になりました。

★6月～3月、管理者/主任等を対象にした、二つのスーパービジョン研修(Zoom)

基本的・総合的な学びと、事例研修とを実施。様々の講師の先生方(久田則夫氏、吉浦輪氏、横尾恵美子氏、佐々木炎氏)から、有益な学の時を与えられました。

★2022年1月～2月 コロナ感染者がでて、臨時休業や、欠勤の事態に

1月以降、ケアセンターマーガレット、デイサービスセンター真菜、聖ルカ ショートステイ、デイサービスセンターすずらん、ワークセンターあさがおに陽性と判定された人が出て、それぞれ臨時休業。他にも職員やご利用者が濃厚接触者になったためや、体調不良による休みや、子どもの学校等休業による欠勤など、多数の休みが発生しました。



ワークセンターなのはな

★10月22日、ウォークラリー

グループに分かれ、島田市内を、地図を持ちミッションをクリアしながら散策。午前中、雨天だったため、午後からの短い時間になってしまいましたが、グループ内でリーダーやカメラマンを決め、相談しながら目的地まで歩き、買い物もしました。意外な人が近道を知っていて、びっくり。



★1月24日、おにぎり作り

非常用ご飯を、自分でラップに包み、おにぎり作り。苦労しましたが、どんな形でも、自分で作ったおにぎりは美味しい!今後の目標は、家でも作って、それを朝ごはんにして出勤することです。

★8月27日、制作活動

タイルを使ってフォトフレームや小物入れの製作、11月には、陶芸教室でお皿を製作。タイル製作は、様々な色や形のタイルを並べて、専用の接着剤で貼り付ける作業。細かな作業が苦手な人も職員の助けで上手にやれました。陶芸教室では、イキな作品ができました。発想力のある人、規則的に並べる人等々、ひとりひとり素敵な作品を完成。



★9月17日、なのはなアーケード

室内に古着屋さん、ゲームコーナー、駄菓子屋さんを開店。模造硬貨を使って買い物やゲームを楽しみました。中でも古着屋は大盛況、試着コーナーもあり、仲間同士で「かっこいいじゃん」と褒め合いました。昼食は好きなメニューの食券を買って注文。コロナ禍で日帰り旅行はできませんでしたが、これも楽しい1日となりました。



垂穂寮

★施設内研修を7回開催

外部講師に依頼した研修、施設あげでのコロナ対応初動訓練、担当職員によるユーモアたっぷり楽しい研修など。研修を重ねるたびに、活発な意見交換ができ、意欲的な発表がなされ、楽しい学びの機会になりました。

★垂穂寮の玄関ホールに美しい飾りつけ

1月はお正月、2月は節分、3月は雛祭り、4月は桜、5月は端午の節句と、毎月、担当職員が季節にふさわしい飾りつけ。ホール全体が明るい雰囲気になり、とても賑やかに。



★備えあれば憂いなし

「新型コロナの陽性者がでた」と想定し、7月16日、初動対応の訓練を実施。PPEの着脱、隔離対応や各エリアのゾーニング、食事や排せつの対応など、それまでの日常とは全く異なる生活様式を経験。職員は右往左往しましたが、ご利用者は泰然自若。(やはり腹がすわっている!) 訓練を通して新たな課題も見え、有益でした。



★垂穂寮のお食事

コロナ禍により、外出や外食が減ったので、調理担当の皆さんが大奮発。秋祭り、クリスマス会、新年会等の行事には、定番メニューのほかにフルーツサンド、パプリカグラタン等、新メニューも提供。普段の食事も、変化に富んだ献立になりました。



★三大イベント～秋祭り・クリスマス会・新年会～

9月24日秋祭り・12月11日クリスマス会・1月22日新年会を開催。コロナ禍の為、ここ数年は、外部の方々やご家族は招待せず、ご利用者と職員のみでの集い。イベントの4カ月前から会議を開き、感染防止を最優先にして準備。おかげで、どのイベントも大いに盛り上がり、ご利用者の笑顔があふれました。



★垂穂寮にスヌーズレンルーム開始

6月11日、スヌーズレンルームが完成。きっかけは、特定の物に強くこだわる利用者のために何かほっとする場があればいいなという、1人の職員の思いからでした。今では多くのご利用者の癒しの空間になっています。

ケアセンターさざんか

★ご利用者6名とお別れ

長年さざんかを利用された方々が、諸々の理由で退所に。2名の男性は病気のためご逝去。1名は医療ケアのある他事業所に移られ、もう1名の男性は高齢者施設へ、2名の女性も高齢者施設へ移られ、悲しさと寂しさを感じた1年でした。



★これまで使ってきた建物にお別れ

ケアセンターさざんかは12年前から元やまばと成人寮の建物を使い始め、広い場所で思い出をたくさん作りました。しかし、この建物は築49年なので、4月からは新しい場所、新しい建物に移り、名前も「花もも」となります。創立25年目の歩みが始まります。



★感染予防に努めつつ行事を開催

運動会、納涼祭、クリスマス会、お寿司屋さんの来所、食事会等、普段の日課以外にもあるイベントを計画し実施しました。例えば、職員による初の脱出イリュージョン。ご利用者の方々に好評でした。



居宅介護支援事業所 シャローム

★一人ケアマネで奮闘

居宅介護支援事業所開所以来、所属するケアマネが一人という危機的状況でしたが、拠点事業所の協力、高齢者部門各所の応援で、何とか1年間乗り切ることが出来ました。感謝。

★とくし丸をつなげる

地域住民に親しまれているカネハチのとくし丸(出前スーパー)をグレイスに紹介。買い物の様子を見ていると「地域とつながる」「自己決定の尊重」「交流」が実践されていることが分かり、地域密着型施設の良さを感じ、嬉しく思いました。

★社会貢献の一環として坂部の地域サロンに参加

昨年に続き、坂部ふれあいサロンの皆様のために楽しい交流プログラムを提供しました。

わかば・もくれん もくれん

★勝山日出男さんご逝去

6月11日に体調が急変し、救急搬送先の病院で、重度の肺炎と診断され、約10日後に逝去されました。出棺時には多くの仲間やスタッフが見送りに来ました。難しい漢字を使いながら、万年筆で自分の思いを便箋に綴っていた姿や、うれしそうに明るく笑う笑顔が思い出されます。



★坂下さん、野澤さん、町さんが高齢者施設へ

2名は聖ルカホームへ、1名はグレイスへ入所されました。茶畑の周りを散歩しながら「向日葵咲いてー」等と、季節の変わり目を共感しあった日々が懐かしく思い出されます。

わかば

★4月恒例の遠足

「わかば」は男性ばかりが暮らすホーム。今年は、若手職員が中心になり、ネットを駆使して遠足の計画。コロナ禍ではあるものの、焼津の石津浜公園まで足を伸ばして散策。潮風に吹かれながら大きなお弁当を食べ、その後は、利用者・職員全員でサッカーボールを夢中で追いかけて、息もつかない位、楽しめました。



★ご利用者の誕生祝いにホールケーキをプレゼント

ホールケーキを吹き消してもらい、他利用者、職員から「おめでとう!」と祝福される経験はとても特別感があります。きっと職員も、ホールケーキがサプライズで用意され、利用者・職員に祝福される日を首を長くして待っているのでは?

★4月に新しいご利用者1名

青島忠勝さんが新しく入所されました。兄貴のような方です。

島田市立養護老人ホーム ぎんもくせい

★コロナワクチン接種3回完了

5月20日、21日に第1回目の新型コロナウイルスワクチンを接種、第2回目は6月10日、12日、そして翌年2月3日、4日に、第3回目のワクチン接種が行われました。職員の中には、副反応がひどく出た方もいましたが、入所者の皆様には大きな副反応はありませんでした。



★8名のご利用者に感謝の会

日頃、浴室の掃除に協力して下さる方、食後の片付けや清掃を手伝って下さる方、ウェス切りや新聞紙ごみ袋を作ってく下さる方など、ご利用者8名にハンバーガーランチをご用意。感謝のときを過ごしました。



★「クリスマス会」、パンケーキを皆で作りました(12/17)

一緒にクリスマスケーキを焼き、クリームや果物を飾りつけました。自分たちで作ると、不思議と一体感と満足感があっていいものです。おいしくもあります。



診療所

★ご利用者と職員に、3回目のワクチン接種完了

赤堀先生(管理医)と、竹内先生(嘱託医)のご協力を得て、2022年3月には、法人内の全てのご利用者・職員に、3回目のワクチンを接種することが出来ました。

★ドライブスルー方式によるPCR検査

施設に陽性者が出たため、寒くて強風が吹く中、坂部区民センター駐車場を会場とし、ドライブスルー方式によるPCR検査を実施。他に感染者はいないと分かったときは、ほっとしました。率先して働いて下さった赤堀先生とナースに心から感謝です。



みぎわ(グループホーム)

★土日、祝日の昼食に外部の配食サービスを導入

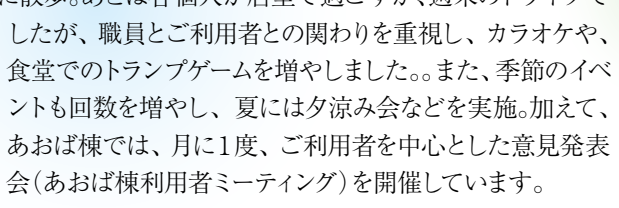
平日は垂穂寮の食事をいただいておりますが、4月から土日祝日の昼食は、外部の配食サービスの活用を始めました。利用者との関わりを増やすことが目的です。

★みぎわ棟の建物外壁、屋根の改修工事を

2021年8月から10月にかけての改修工事でした。グループホームみぎわも10年が経過し、外壁の汚れなども見られることから、初めて大掛かりな塗り替えを実施。ご利用者にも、通路の変更など多少影響がありましたが、特に混乱することはありませんでした。

★4月から余暇の過ごし方が変化

これまでは、午前中に散歩。あとは各個人が居室で過ごすか、週末のドライブでしたが、職員とご利用者との関わりを重視し、カラオケや、食堂でのトランプゲームを増やしました。また、季節のイベントも回数を増やし、夏には夕涼み会などを実施。加えて、あおば棟では、月に1度、ご利用者を中心とした意見発表会(あおば棟利用者ミーティング)を開催しています。



ケアセンター野ばら

★ご利用者とスタッフの変化

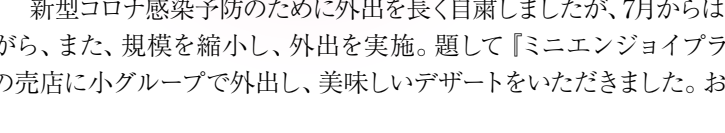
この一年の間で、様々な出会いと別れがありました。ご利用者の桜井さんが6月にご逝去。(享年49歳)また、もう一人の桜井さんが10月に入所施設に転出。そして、新たなご利用者として大庭さんが7月から週2~3回の利用を開始しました。一方、職員に関しても長く勤めた女性スタッフが、2021年4月末をもって退職し、同6月には準職員として新しい女性スタッフが就任しました。

★オンリーワンメダル

TOKYOオリンピック2020開催を記念して、ご利用者一人ひとりが思いおもいのメダルを作成しました。(ご利用者の毎日の活動と活躍は、金メダル以上の輝きを放っています。)

★コロナ禍だってエンジョイ

新型コロナウイルス予防のために外出を長く自粛しましたが、7月からは十分な感染予防に努めながら、また、規模を縮小し、外出を実施。題して『ミニエンジョイプラン』。近隣のバラの丘公園の売店に小グループで外出し、美味しいデザートをいただきました。お出かけはやっぱり良い!



ワークセンターさくら

★8月12日、あつまリーナ合同の納涼祭

当日はあいにくの雨、急遽建物内での開催となりました。金魚すくい、輪投げ、的当て、千本引き等のゲームあり、かき氷や焼きそば等の軽食もあって、笑顔いっぱい、お腹も満たされました。

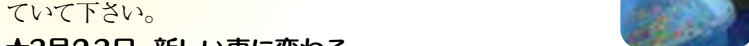
★滝井さんありがとう

4月5日、ご利用者、滝井繁夫さんが自宅にて急逝。3日前には、さくら全員で吉田公園に行き、一緒に散歩してお弁当も食べたのですが……。滝井さんは心の広い方で、周りからの注意にも「悪いっけ。悪いっけ」とすべてを受け止めてくれる方でした。これからも見守って下さい。



★3月23日、新しい車に変わる

長年使っていたさくらの軽バンが廃車となりました。新しい車は、車種はほぼ同じですが、最新型なのでカーナビや自動ブレーキ、アイドリングストップなど、素晴らしい機能がたくさん付いていてご利用者も大喜び。大切に使いしていきたいと思っております。



ケアセンターマーガレット

★朝から楽しみが増えました。

朝の集いの歌が一新。利用者さんの好きな曲をピックアップし、日替わりで歌います。自分の選んだ曲の日は、朝から笑顔があふれます。気持ちの良い自己発表も増えました。



★月1回のお楽しみ活動を開始

みんなで行き先を決め、おやつを持って公園等へ出かけます。新しい公園も開拓出来ました。ご本人の希望をきいて、支援者とマンツーマンもしくは少人数で出かけます。とてもリフレッシュになります。



★12月17日あつまりリーナ合同クリスマス会開催

あつまりリーナ3事業所合同の、少し早いクリスマス会。ご家族にも参加いただき、練習の成果を発表。トーンチャイムとベルで『ドラゴンクエスト』を演奏し、鈴を交えて『あわてんぼうのサンタクロース』を合唱しました。



ワークセンターカサブランカ

★10月1日付で

酒井楓花さん就職

県立藤枝特別支援学校の職員補助として働くことになりました。コロナ過の状況でしたが、一般就労へ羽ばたいて行ってくれた仲間に、皆でエールを送っています。



★10月20日、ブラッシング指導実施

島田市健康づくり課の保健師さんに来ていただきブラッシング指導。コロナの感染予防を行いながら無事に実施することができました。



★ペットボトル圧縮結束機新しくなり、作業率アップ

作業で使用しているペットボトル圧縮結束機が1月に新しくなりました。今までは作業行程中のエラーや不具合も多く作業を中断しなければならなかったのですが、それも激減、作業員のストレスも少なくなりました。



★最低賃金アップ! 自転車通勤の方にも通勤手当支給!

10月2日に静岡県の最低賃金が885円→913円に改定。ご利用者の賃金もアップしました。さらに、これまで自動車通勤の方しか支給されていなかった通勤手当が、自転車通勤の方にも支給されるようになり、これも励みになりました。



ワークセンター希望の家

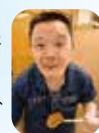
★大輪ひまわりが咲き、幸せの分かちあい

6月にひまわりの種を育てました。わたしたちの作業所のすぐ裏には大井川鉄道が走っているの、大切に育てた苗を裏庭へ植え替えました。向日葵はぐんぐん伸び、雨風にも負けず、真っ直ぐに成長。8月満開となり、皆で記念撮影。大井川鉄道機関車の車窓からもひまわりの花、見えたかな? 幸せ届いたかな?



★8月27日、七夕夏祭り

コロナ禍でどのように行事を行うのか…どの施設も悩んでいます。希望の家では職員皆で検討し、施設内でご利用者が楽しめる、七夕と夏祭りを併せた行事を開催。祭り気分を楽しめるBGM、くじ、鍋や手ですぐえる豪華なお菓子すくい・おもちゃすくい、ボーリングや輪投げゲーム、最後には特製焼きそばを食べました。短冊に書いたみんなのいろいろな願い、叶いますように!



★1月10日、成人を祝う会

20歳を迎えた紅林伸さんの祝賀会。仲間からお祝いの言葉をもらい、大人の仲間入り。紅林さんも20歳を迎えられた事をとても喜びました。これまで育てて下さった親御さんへ感謝の気持ちを伝え、温かな会となりました。希望の家からはご本人の似顔絵をプレゼントしました。成人、おめでとうございます☆



ワークセンターコスモス

★島田市第2地区民生児童委員の方たちと交流会

コロナ禍もあり年4回の予定が3回に。

密を避け、屋外で花壇の花の植え替えをしました。園芸用品を受託しているヤマトコーポレーション様の社員の方に参加してもらい、アドバイスとサポートを頂きました。ご利用者一人一人に好きな色の花を選んでもらい民生児童委員の方と共に植え、楽しかったです!



★10月末に、ハロウィンイベント、バルーンアート



ご利用者、職員共に思い思いの仮装をし、記念撮影。バルーンアートの方は大いに盛り上げてくださったのですが、ド派手なピエロの仮装で車から降りて来られ、イベント終了後もそのままの仮装で颯爽と車を運転され帰られ、一同、驚かされました。

★大畑有渚さんの成人を祝う会

仲間のご利用者、職員一人一人がお祝いの言葉を伝え、

記念品を贈呈。有渚さんは嬉しそうに「ありがとう」と、しっかり答えていました。



<番外>

★30年間通われた杉山和秀さんが7月に、3年通われた増田雄彦さんが10月に他事業所へ。コスモスでの働き、ありがとうございます。また、島田授産所開所時から42年間通って下さった樽松守也さんが3月末に急逝。60歳でした。長い間のお交わりに感謝です。ご冥福をお祈りいたします。

ワークセンターふれあい

★仲間との悲しい別れ、新しい出会い

2021年は、80歳までふれあいを利用してくれた溝下正巳さんが

高齢者施設へ移行。又、新天地でグループホーム生活を始めた鈴木展行さんも転出し、さびしくなりました。しかし、翌年2月には新しく西野信之介さんが利用を始め、喜んでます。



★10月15日、仮装してボーリング大会

ご利用者・職員・ボランティアの皆で、施設長の用意した帽子やマスクで仮装をし、施設内でのボーリング大会。久しぶりの行事に皆盛り上がり、各自景品をゲット、最後に写真撮影。そのまま気に入った帽子をかぶり退所した方もおられました。笑顔があふれる時間となりました。



★2022年 初詣・新年会

2022年1月28日、蔓延防止法発令中で当初予定していた大井神社初詣→割烹料理「三三九さん」への外食会は中止。



近くの家山八幡宮へ行き、参拝方法を

学びながら初詣。「三三九さん」からはお弁当を配達して頂きました。お店の方のご厚意でご利用者のリクエスト「卵焼きやハンバーグ」もお弁当に入り、玄関で記念写真も撮影、美味しいお弁当で、心豊かに新年を迎える事ができました。

牧之原市地域包括支援センターオリーブ

★週に19時間ですが、オリーブ専属の事務員配置。

2人の娘さんのママ。若いので仕事もてきぱきとやってくれ、とても助かっています。



★サロンなど啓発事業の所在地を示す紙ファイルを作成し、配布

もらった方はとても喜んでます。

★新しいノートパソコンの活用

今まではセブンのデスクトップでしたが、時間がかかったりしたので、新しい順調に仕事ができます。

生活支援センター やまばと

★うれしいエピソードがありました

訪問時にいつも「初対面の人と話すのが苦手で、何かあった時など心配」と話していた方が、バスを乗り過ごし道に迷ったそうです。自力で帰ろうと何時間も彷徨っていましたが、勇気を振り絞ってお店の方に助けを求め、更に支援センターにも電話。相談した後、結局無事に家に着いたとの連絡も頂きました。生きる力が発揮されたことに感動! 地域の方の支援にも感謝しました!

★法人防災訓練で、ハザードマップを確認

牧之原市・島田市・吉田町内のハザードマップに、ご利用者の自宅・事業所をシールで目印をつけ確認しました。その結果、津波警戒地域・山間部等にお住まいの方々の把握ができました。このマップを十分活用し、防災に役立てていきたいと思えます。

★牧之原市自立支援ネットワーク防災部会では避難所体験

とても寒い日、段ボールでベッド作り等をしました。不便さも含め、様々な体感を味わい、良い機会となりました。

★前年度に続き、支援を多く必要とするケースの事例検討会を定期的開催

法人内や外部からスーパーバイザーをお呼びし、支援に関わる助言を頂いてきました。法人外事業所とも共同開催することができ、ご本人の意思決定・ご本人中心支援について学ぶ機会を持つ事ができ有益でした。



ケアセンターかたくりの花

★5月、新緑の静波海岸へ個別外出

到着したのは潮風が心地よい静波海岸。

「自由の女神」の前で手を挙げて同じポーズでハイチーズ!! 「相良油田の里」では木漏れ日降り注ぐ散歩コースをゆっくり散策しました。



★7月16日、夏のお楽しみ会

ピエロさん登場によりバルーンショー。次々と出来上がる作品にみんな目が離せません。「僕も私も欲しい!」と大人気。「魔法のステッキ」を貰い、満足の笑顔でした。

★秋のかたくりんびっく

パン食い競争は大人気。「ヨーイ、ドン!」でパン目掛けて一目散に走って行き、クリームパンに悪戦苦闘でした。東京オリンピックに劣らないくらい「かたくりんびっく」も盛り上がりました。

★11月23日、勤労感謝の日に「感謝の会」

職員が「ニコニコ笑顔をありがとう」と伝えると、「いつも元気でありがとう」とご利用者から感謝のお返しがあり、お互いに日頃の感謝を伝え合う素敵な一日でした。

★お疲れ様忘年会で「黒髭危機一髪」ゲーム

積極的にナイフを刺し攻め込み、チームで競争。ご利用者は樽の人形に興味津々、コロナ禍にも負けず元気に2021年を締めくくりました。



相寿園

★サツマイモの収穫

2021年10月、利用者の皆さんと職員で力を合わせて掘り起こし収穫。結構疲れました。

★久々の外出

2021年11月、久々の外出。利用者の方の満足そうな表情に増して、職員の嬉しそうな顔。

★紅葉狩り

2021年12月、紅葉の名所として知られる藤枝市の滝ノ谷不動峡。通称「もみじ公園」に外出。少し冷えましたが、赤く染まった溪谷は絶景でした。

★習字クラブ

月に1度の「習字クラブ」の活動。参加した利用者の皆さんは、納得のいくまで半紙をにらみながら奮闘。職員より数段上手。

★こんな芸を持っていたとは!!

「このおかげで女性にはずいぶんモテた。」との自慢話付き。

それにしても、ギターが欠かせない「団塊の世代」の高齢者施設入所を予感させる1枚です。



グレイス

★苗植えて、収穫して、お料理を楽しむ

取り組みたいことの一つとして、ユニットの人々で野菜の苗植えから収穫まで行い、皆でお料理して楽しむを掲げましたが、実現できました。また、グレイスだよりの写真に掲載回数が多かったあさがおユニット職員を表彰し、粗品をプレゼント。職員からは励みになると喜びの声が・・・。



★楽笑会はビデオで

毎年12月に行うお楽しみ会【楽笑会】。今回もゲームや職員による余興などを計画していましたが、コロナ情報が入り急遽中止に。残念でしたが、職員の練習の成果が録画に収められていたので、これを楽しんで頂くことになりました。



★事務員による「コーヒー召し上げれ」

業務多忙により、聖ルカと兼務する栄養士がご利用者へのコーヒー提供に来られなくなりました。そこで立ち上がったのが事務職員。自ら喫茶の為にユニットをまわってくれるようになり、利用者様との交流を深める事ができました。



★12月、里山の会の皆様による餅つき

メイホールで久しぶりに餅つきが行われ、その後はつきたてのお餅の入ったお汁粉を美味しくいただくことができました。地域の皆様、ありがとうございました。



★2月、牧之原市緑化推進事業により、花の苗木プレゼント

ご利用者に植え替えをしていただいたところ、毎朝、水撒きを日課とするようになり、お花とご利用者の交流が続いています。



コミュニティセンター ぶどうの木

★7月から「2ヶ月の短期間リハビリテーション」開始。

転倒などのハイリスクを抱える方、改善が見込まれる方を対象に、理学療法士を招いて活動をスタート。体の柔軟性や体幹の筋力向上に向けた体操や、脳トレ、口腔体操を実施。PTからの技術的助言を受け、事業所の質の向上にも繋がるサービスとなっています。



★ぶどうの木オリンピック開催。

職員手作りのトーチでひとりひとり聖火を繋ぎ、徒競走(その場足踏み)、水泳、ボール送り、パン食い競争、仮装リレーにと、皆さん一生懸命各種目に取り組みました。



★クリスマス仮面舞踏会

クリスマス会の行事として、手作りの仮面とドレスを着たご利用者を、男装した職員がエスコート。ワルツの曲に合わせて体を揺らしての運動や、スキンシップを楽しみました。エスコートされると照れながら嬉しそうに楽しめる仕草が印象的でした。



★地域の集いの場6丁目を再開(7月)

活動が休止となっていた6丁目シニアクラブを、町内会、生活コーディネーター、包括と連携して再開。地域のボランティアの見守りの中で高齢者が元気で公民館へ歩いて出向き、お喋りを楽しむ様子が見られ、自主的活動へと繋がりました。



地域活動支援センター レタスクラブ

★8月21日、あつまリーナ夏祭りへ参加

ご利用者7人、職員2人が全体の夏祭りに参加。ゴムボールすくいとポップコーン作りを担当。にぎやかで楽しいひとときとなりました。



★10月15日、カレー屋さんへ外出

「本格的」と評判の、焼津のカレー屋さんへ、ご利用者8人、職員3人で食べに行きました。



★クリスマス会でオペレッタ披露

12月22日、あつまリーナ交流ホールで、ご利用者8人、職員3人が全体の「クリスマス会」に参加。「浦島太郎」のオペレッタを披露し、たくさんの拍手をもらいました。数カ月前から何日も練習し、力を入れてきたので、感極まって泣き出すご利用者もいました。



デイサービスセンター 真菜

★勝間田小学校生徒の皆さんに福祉の授業

以前より交流のある勝間田小学校より、福祉授業の依頼があり、職員四名で伺いました。デイサービスの役割や、私たちが支援する上で心がけていることとお話。職員(名女優)による寸劇は、大笑いに。生徒の皆さんが真剣に聞き入る様子にとっても感心しました。



★ご利用者さんと一緒に、初めての手作り昼食

ちらし寿司とお味噌汁を作りました。皆さん、手際よく野菜を切ったり、ご飯を混ぜたり、さすがお母さん!の姿でした。出来立てのご馳走を目の前にして皆さんの食欲もアップ。「美味しいよ」と大好評。今後も月一回ペースで行っていく予定です。



★皆でシイタケ栽培に挑戦

オリーブ園の加藤さんに原木を頂き、運転手さんに協力してもらい、原木に穴をあけ、菌打ちをしました。菌打ち後はしばらく放置でしたが、気が付くと大きなシイタケが!その後も定期的に、肉厚で美味しいシイタケが収穫できました。



★コロナ陽性者一名、事業所は営業中止に。

1月25日、ご利用者一名「コロナ陽性」と判明しました。関係各所への連絡や、ご利用者さん宅への対応、施設内の消毒作業等々、事業所はてんでこ舞いに。幸い、感染が拡大することはなく、早めに営業再開が出来、ほっとしました。



★新しい真菜が完成!

9月に着工し、3月に引き渡し完了。新しい建物を見て、職員一同身が引き締まる思いです。三栗を離れる寂しさもありますが、感謝の気持ちを忘れず、坂口でも皆様のお力添えを頂きながら、ご利用者さんに寄り添った支援を継続してまいりたいと思います。

聖ルカホーム

★EPA生の受入れ

6月から、インドネシア人のEPA生、セプティさんが仕事を始めました。法人として初めての受入れで、お互いに不安いっぱいでしたが、努力家で優しい仕事ぶりに、ご利用者も職員もとても感心しています。



★12月に、ユニット対抗のフラワーアレンジコンテストを開催

ご利用者と職員が協力して、ひとつの作品を完成。花の種類も花器も同じ物を用意して提供しましたが、ひとつとして同じく作品にならず、どれも素敵な出来栄でした。



★ショートステイご利用者に、新型コロナウイルス感染者

短期入所ご利用者に1名の感染者が確認され、隔離しましたが、最終的には、ご利用者と職員合計7名の感染となりました。重症化の方がいなかったのは幸いで、関係者一同が一致団結して困難を乗り越えることができたのも感謝でした。



ワークセンターやまばと

★3月送迎・受託運搬用の新車を購入

送迎利用者の増加や、受託運搬車の老朽化のため、新車を購入しました。以前よりも広々していて、荷物も大量に詰め込む事ができ、送迎車利用のニーズにも対応する事ができました。



★河原崎新次さんお疲れ様でした。齊藤香理さんこれから頑張ってください。

河原崎新次さんが、2021年度でWocやまばとを卒業。これからは高齢者施設でゆっくりして頂きたいと思います。9月より齊藤香理さんが利用開始。まだ10代なので、今後の活躍を期待しています!!



★コロナ禍でも出来る事

コロナの影響で様々なイベントが無くなる中ですが、4月にはハイキングに出掛け、10月には感染症対策をとりながらカラオケ・餅つき大会を実施。美味しいお餅とカラオケにより、ストレスは発散できたようでした。



ワークセンターあさがお

★「ついにコロナがやって来た」

2月にご利用者5名が新型コロナ陽性と判明し、ただちに臨時休業しました。あっという間に広がる感染力のすごさに圧倒されました。関係者の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしましたが、幸いにも皆軽症で済み、一安心でした。



★感染予防しながら、近場へ楽しい旅

8月は近くの富士山静岡空港へ。10月は日帰りバス旅行。まず、掛川の永福寺で念珠作り。健康を祈願し、法多山では厄除け団子を頂く。KADODE大井川でお土産を購入。遠出ではありませんが、みんなと一緒に行けたことが一番楽しかった!

★体を動かしてリフレッシュ

年間を通し、隔月に「リフレッシュ体操」、仕事のコリをほぐしました。インストラクターの青野先生は愉快で、身も心も軽くなることができました。作業も大事ですが、体を動かすこともとても大事と痛感しています。



デイサービスセンターすずらん

★8月12日、メイホールにてDS真菜との合同研修

実際に、車椅子に乗り、介助される側になりました。ひとつひとつの動作ごとに声をかけてもらおうと安心できることを再確認しました。今後も引き続き合同研修を開催する予定。



★9月は敬老会

感謝状に「健康に過ごしてくれてありがとう」の言葉を添えてお渡しました。お祝いのケーキにも感謝状のデコレーション、皆で美味しくいただきました。

★新型コロナウイルス感染者発生!

ショックでしたが、広がらなかったのは、感染対策を十分におこなっていたからこそです。それと、グレイス職員の皆さんが消毒や掃除、関係各所に連絡をするなど早い対応で協力してくれたおかげです。、本当に感謝の一言です。

やまばと希望寮

★6月2日、運動会

晴れた空の下、恒例の運動会を開催。ケースごとにそろえたTシャツを着て、めいめい各種目に張り切って参加!特に力が入るのは、「お菓子とり競争」です。自分の出番は終わったのに、もう一度レースに参加しようとする人たちもいました。



★家族をお招きしないクリスマス

コロナ感染を警戒して納涼祭は中止しましたが、クリスマス会は開催。それでも、今回は家族は呼びませんでした。ちょっと寂しい集いでしたが、プレゼントとケーキをもらってご満悦。来年度こそは、家族もお呼びできますように。

★盛り上がる節分行事

「鬼は〜外」の声とともに、(職員が扮する)鬼に向かって、ご利用者と職員から次々にカラーボールが飛んできます。思いのほか本気でボールを投げつけるスタッフもいて、鬼も逃げ出したくなったことでしょう。



★改装や設備更新など、工事の多い年でした!

(1)食堂の一部を、厨房室に改装

築40年ほどの厨房刷新のため、希望寮食堂の一部を改装。1月から始まった工事は、年度末に完成。新年度からは、ご利用者の食事光景を調理関係者は間近に見るでしょう。

(2)他に、浄化槽の放流ポンプ改修工事、火災報知機の入替工事、キューピクルの変圧工事等



ライフサポート さふらん

★コロナ感染者へケアを継続

無症状であったため在宅生活可能とされた方が、独居であったため支援が必要で、ご家族やケアマネジャーと連携し、ケア内容を変更し対応させていただきました。

★防災マップの作成

前年度から取り組んでいた“ご利用者防災マップ”を更新。災害時におけるご利用者と、訪問職員を守るため、訪問先の地理状況や被災予想を確認し、地図に書き込んでいます。



牧ノ原やまばと学園 事業所所在地 一覧 (2022年4月1日現在)

- 法人本部**
 - 1 牧ノ原やまばと学園本部
- 障害者支援施設**
 - 2 垂穂寮
 - 3 やまばと希望寮
- 養護老人ホーム**
 - 4 相寿園
 - 5 島田市立養護老人ホームざんもくせい
- 特別養護老人ホーム**
 - 6 聖ルカホーム
 - 7 グレイス
- 通所介護(高齢者施設)**
 - 8 デイサービスセンター真菜
 - 9 デイサービスセンターすずらん
- 介護予防拠点施設**
 - 10 コミュニティセンターぶどうの木(こにた)
- 生活介護(障害者施設)**
 - 11 ケアセンターかたくりの花
 - 12 ケアセンター野ばら
 - 13 ケアセンター花もも
 - 14 ケアセンターマーガレット
- 就労継続支援事業所(障害者作業所)**
 - 15 ワークセンターカサブランカ(A型)※1
 - 16 ワークセンターコスモス(B型)※1
 - 17 ワークセンターなのはな(B型)
 - 18 ワークセンターあさがお(B型)
 - 19 ワークセンターやまばと(B型)
 - 20 ワークセンター希望の家(B型・主)※2
 - 21 ワークセンターふれあい(主・従)※2
 - 22 ワークセンターさくら(B型)
- 地域活動支援センター**
 - 23 レタスクラブ(ひきこもりがちな人への居場所)
- 訪問介護事業所**
 - 24 ライフサポートさふらん
- 居宅介護支援事業所(ケアプラン作成)**
 - 25 居宅介護支援事業所シャローム
- 相談・調整・権利擁護など**
 - 26 牧之原地域包括支援センターオリーブ(高齢者)
 - 27 生活支援センターやまばと(障害者)
- 共同生活援助(障害者グループホーム)**
 - 28 みぎわ
 - 29 もくれん 従※2
 - 30 わかば 主※2
- 保険医療機関**
 - 31 やまばと診療所



- 訪問介護事業所
- ライフサポートさふらん
- 居宅介護支援事業所(ケアプラン作成)
- 居宅介護支援事業所シャローム
- 相談・調整・権利擁護など
- 牧之原地域包括支援センターオリーブ(高齢者)
- 生活支援センターやまばと(障害者)

- 共同生活援助(障害者グループホーム)
- みぎわ
- もくれん 従※2
- わかば 主※2

- 保険医療機関
 - やまばと診療所
- ※1 A型は一般企業就労を目指す作業所
B型は大半の人がここで働き、賃金を得る作業所
※2 主は「主たる事業所」、従は「従たる事業所」の意味

歩みのあと

(三月日/四月二十日)

●全体的なこと (三月日/四月二十日)
 ▼管理者対象スティーパレード研修、講師は佐々木炎氏。3/24、新人職員オリエンテーション。3/24、牧師講話。長澤理事長他10名参加(4/1) 2022年度、新年度職員全体研修(講師は市川宏先生。福祉に生きる「講師は市川宏先生」福社に生きる「きみたちへ」をテーマにした基調講演。153名参加)(4/2) 苦情解決(4/27) ●個別ユース
 ●法人 第5回理事会。主な議案は定期監事監査報告に対する回答(第3次補正予算管理人事等。3/19) 牧之原市介護保険事業計画策定懇話会。(4/21)
 ●「垂穂寮」垂穂寮改革委員会始動。法人役任務を依頼され、佐々木炎委員長3地区民生委員の皆様が来寮し、花植えと草取り。(3/9) 2021年度垂穂寮フットボール大会。金賞、銅賞、特別賞5点発表。(4/30)
 ●「みぎわ」新型コロナワクチン接種3回目。(3/3) 3/3
 ●「野ばら」藤枝蓮華寺池公園を散策。お花見しながらのお弁当。(4/1)
 ●「やまばと希望寮」職員送別会。(3/20) ●変圧設備交換工事。(3/12) ●「わがはもくれん」ご利用者への不適切なケアが発覚。過去に遡って調査。真相は不明。(3月) ●建設引渡。(3/15) ●「さざんか」壁に皆で書く。成人寮時代の年賀状に感謝。(4/22) ●「カサブランカ」コロナワクチン3回目接種。(3/3) ●退職される職員の見送別食事を。(3/29) ●送迎サポート(サービス)を開始。(4/11) ●「希望の家」母の会作り教室。(3/11) ●新規利用者2名が通所開始。(4/1) ●ポチャ大会。チカラ形成のため、4チームに分かれ競い合う。(4/28) ●「ふれあい」ご利用者の手紙等を渡し地域な祭りについて学ぶ。(3/21) ●「マスコ」着用講座を見ながら学ぶ。(4/25) ●「なのはな」横井町クリーン作戦。(3/16) ●「あさがお」新人歓迎会。通所を慰労。(3/30) ●「さくら」新入迎会。横井に對して動物園で親睦を図る。(4/6) ●「あさがお」職員会議で移動式販売の今後を検討。希望寮のウスキーの引越を検討。 ●「コスモス」島田授産所開所時から42年

間利用された種松さんが入院先で亡くなられる。(3/30) ●「かたくりの花」ご利用者宅のお庭でお茶会。お昼は「男の料理カレール」(3/31) ●地域の喫茶ルームさへ。利用者会議でメニューを選択。体験を終了満足。(4月) ●「さくら」はあじろ2階へ避難。(4月) ●子昇降体験。注意箇所を確認。(3/24) ●「あさがお」はあじろ2階へ避難。(4月) ●「マーガレット」ひなまつり行事。お内裏様とお雛様のパネルで写真撮影。(3/3) ●「レタスクラブ」全員で福袋作り。フリースタイル。全員で福袋作り。フリースタイルの姉妹店へ招待され、皆がフレンドリー。(4/14) ●「生活支援センターやまばと」相談支援部会。(4/12) ●「聖ルカホーム」坂部区及び坂部5町内会との防災協力体制について検討。(3月) ●「グレイス」施設周辺を桜を愛で散歩。施設に戻ってカレーうどんを食へ、お腹も気持ちいも満腹。(3/17) ●「ユウ」育てた旬の野菜を取寄せ、青豆ご飯で季節を味わう。(4月) ●「グレイス」使い慣れた多層のあさがおユニット。楽しい企画で、頑張った賞。(4月) ●「相寿園」ウグイスが鳴き、カンヒサクラが咲き、ソメイヨシノが咲き誇る。畑の菜の花も満開。相寿園の春の風景。(3月) ●利用者中心の園芸活動「コスモス」等の苗を育て、楽しみが増える。(4月) ●「ざんもくせい」退所式。(3/8) ●「毎週1回、朝礼時」私たちの願いの唱和を始める。(4月) ●「真菜」建物引渡開所まで準備の日々も職員も利用者さんも楽しみ。(3/15) ●「利用者さん」と一緒に「寿司作り」。(3/21) ●「相良」社内、食糧支援。(3/22) ●「すずらん」施設内の河津桜を見学。目にも体にもフレッシュ。ご利用者の表情もにこやかに。(3/10) ●「さくら」新型コロナ感染濃厚接触者のケアを引受ける。(シャローム) 入職予定者と共に真菜内覧会へ同行。利用者さんの紹介時のポイント等を伝える情報収集。(4月) ●「オリーブ」タオル、寝巻の寄付があり、社会福祉課に寄付が決まる。(3月) ●「ぶどうの木」の祭りに参加。(3月) ●「あさがお」2か所、牧之原市が対応。(3月) ●「あさがお」 ●表紙の写真は、垂穂寮の「ご利用者」の前中。ご自身のソファに座り、鼻歌を歌いながら過ごされています。4月に誕生日を迎えられ、66歳になりました。 ●「初め、真菜と「花もも」の建築工事が完了し、引越を終了しました。お近くにお寄りの際は、お訪ねください。(I)